

委託訓練カリキュラム

訓練科名	保育士資格コース		就職先の 職務・仕事	保育士 保育所・児童養護施設
訓練期間	令和2年4月1日～令和4年3月31日（24か月）			
訓練目標	指定保育士養成施設において、保育士養成課程を中心に、講義、演習、実技及び実習により、保育に関する専門的知識と技術を習得する。			
仕上がり像	保育士資格（国家資格）を有する専門的な人材として、保育所や児童福祉施設等において正職員として就職して活躍できる人材。			
系列	形態	科目の内容	科目	時間
保育の本質・目的に関する科目	講義	保育の意義及び目的について理解し、関連する法令、制度を学ぶ。	保育原理	30
	講義	子どもの人権擁護について理解する。	児童・家庭福祉	30
	講義	子ども家庭支援の視点から、社会福祉の意義と歴史の変遷について学ぶ。	社会福祉	30
	講義	子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本について理解する。	社会的養護Ⅰ	30
	講義	保育士の職務内容と働き、倫理、保育者の連携・協働について理解を深める。	保育者論	30
	講義	教育の思想と歴史的返還について学ぶ。	教育原理	30
	講義	子育て家庭への支援体制、多様な支援の展開を理解する。	ソーシャルワークⅠ	30
保育の対象の理解に関する科目	講義	より効果的な保育を展開するために必要な心理学の基礎的事項について学ぶ。	心理学	30
	講義	生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を学ぶ。	子ども家庭支援の心理学	30
	演習	保育実践での子ども理解に基づく保育士の援助や態度について理解する。	子どもの理解と援助	30
	講義	子どもの心身の健康状態とその把握の方法について理解する。	子どもの保健	30
	演習	子どもの発育・発達と食生活の関連について理解を深める。	子どもの食と栄養Ⅰ	30
	演習	家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題について具体的に学ぶ。	子どもの食と栄養Ⅱ	30
	演習	相談援助に関わる知識と技術について、実技指導を通して、実践的に習得する。	保育実習準備Ⅰ（相談援助演習Ⅰ）	60
保育の内容・方法に関する科目	演習	保育所保育指針に基づく保育の全体構造と保育内容を学び理解する。	保育内容総論	15
	演習	領域「健康」の意義を捉え、保育者の役割を理解する。	保育内容「健康」	30
	演習	領域「人間関係」の意義を捉え、保育者の役割を理解する。	保育内容「人間関係」	15
	演習	領域「言葉」の意義を捉え、保育への取り入れ方を理解する。	保育内容「言葉」	30
	演習	領域「表現」の意義を捉え、保育者の役割について理解する。	保育内容「表現Ⅰ」	30
	演習	領域「表現」の意義を捉え、保育者の役割について理解する。	保育内容「表現Ⅱ」	30
	演習	保育内容各科目と連携しながら演習を行い、実践に必要な知識や技術を学ぶ。	保育内容総合演習Ⅰ	45
	演習	音楽の基礎や歌の演奏技術、表現力を習得し、基礎的演奏技術を習得する。	音楽	30
	演習	音楽の基礎とピアノの基礎的演奏技術を習得し、基礎的演奏技術を習得する。	器楽Ⅰ	30
	講義	乳児保育の意義・目的・歴史の変遷及び役割等について理解する。	乳児保育Ⅰ	30
	演習	社会的養護の実際、基礎的な内容について具体的に学び理解する。	社会的養護Ⅱ	15
	演習	保育相談支援について具体的に理解する。	子育て支援	15
	講義	子ども理解に基づく保育の過程について全体構造を捉え、理解する。	保育の計画と評価	30
	演習	領域「環境」の意義を捉え、保育者の役割について理解する。	保育内容「環境」	30
	演習	保育内容各科目を基盤として演習を行い保育に必要な実践的な技術を習得する。	保育内容総合演習Ⅱ	30
	演習	乳児保育の環境と内容、配慮の実際を具体的に理解する。	乳児保育Ⅱ（相談援助演習Ⅱ）	30
	演習	保育における保健的観点を踏まえた保育環境及び援助について理解する。	子どもの健康と安全	30
	演習	基本的な障がい、障がい児保育に関する基本的な知識を学び現状と課題を理解する。	障がい児保育Ⅰ	30
	演習	障がいのある子どもの保育計画を作成し、達検査の内容等を理解する。	障がい児保育Ⅱ（相談援助演習Ⅲ）	30
	演習	音楽の基礎とピアノの基礎的演奏技術を習得し、基礎的演奏技術を習得する。	器楽Ⅱ	30
保育実習	実習	相談援助に係る知識と技術について具体的に理解し、実践的な技術等を体得する。	相談援助実習Ⅰ（保育実習ⅠA）	90
	演習	施設実習の意義・目的を理解する。	相談援助実習指導Ⅰ（保育実習指導ⅠA）	60
	実習	実践を通して保育所等の具体的な役割や機能を学び子どもの理解を深める。	保育実習ⅠB	90
	演習	保育所実習の意義・目的を理解する。	保育実習指導ⅠB	30
	実習	保育所の役割や機能について具体的な実践を通して理解を深める。	保育実習Ⅱ	90
	演習	保育所実習の意義・目的を理解し、自己の課題を明確化する。	保育実習指導Ⅱ	30
	演習	保育実習参加するにあたり、必要な資質や能力、技術を高める。	保育実習準備Ⅱ	30
総合演習	演習	教育課程を通して保育士として知識・技術の習得。今後の課題の明確化。	保育実践演習	30
基礎科目	講義・実技	幼児の健康づくりに必要な知識とスキルを学ぶ。	保健体育・レクリエーションⅠ	30
	講義・実技	基本的な運動遊びを知り、子どもとの関わり方を学ぶ。	保健体育・レクリエーションⅡ	30
	講義	日本法における「子ども」の位置づけを学ぶ。	法学	30
	演習	保育者として現場で実践できる基本的な知識、技術の習得を目指す。	英会話	30
	演習	教育・福祉のために働く者として知識・技術だけでなく精神面での研鑽。	キリスト教教育Ⅰ	30
	演習	人権の大切さと具体的差別の現状を理解する。	人権講座Ⅰ	30
	演習	教育・福祉のために働く者として知識・技術だけでなく精神面での研鑽。	キリスト教教育Ⅱ	15
就職支援	演習	望ましい保育士像を自分なりに描き、進級・就職に向けての目標を明確にする。	基礎演習Ⅰ	30
	演習	保育者として教育・福祉の現場で働く者にふさわしい人格を磨く。就職ガイダンス等	基礎演習Ⅱ	30
その他科目	講義	安全衛生	安全衛生	3
	講義	働くことの基本ルール	働くことの基本ルール	3
訓練時間総合計				1,716時間
学科		1,326時間	実技	330時間
			就職支援	60時間

[ここに入力]